

平成 26 年度決算

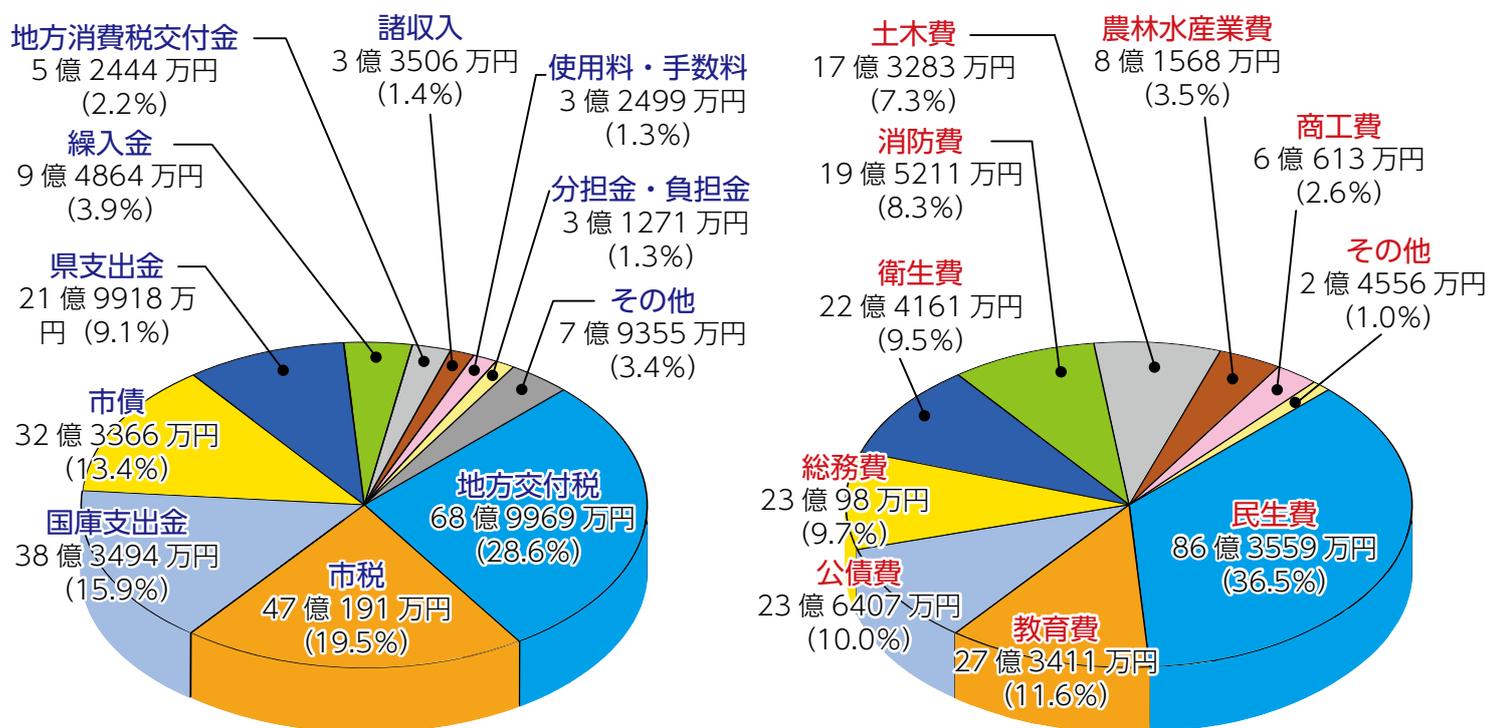
市が1年間にどれだけの予算を使って、どのような事業を実施したのか決算内容と主な事業について説明します。

▶問い合わせ先 総務課財政班 (☎ 63-1111 内線 152)

一般会計決算状況

次のとおり、平成 26 年度一般会計決算額は歳入、歳出ともに前年度より大幅に増加しました。

「市民目線に立った、オンリーワンの島原市」の実現に向けて、市民のニーズを見極め、事業の「選択と集中」を図り、限られた財源の中で最小の経費で最大の効果を上げることを目指して、健全な財政運営に取り組めます。



歳入

241億 877万円

平成 26 年度の歳入総額は、241 億 877 万円で、前年度に比べ 28 億 3151 万円 (+13.3%) の増加となりました。

歳入増の主な理由

防災行政無線整備事業などの地方債の増に伴う「市債」の増、また、建設事業実施や財源不足のために基金を取り崩したことによる「繰入金」の増、ほか「国庫支出金」などの増によるものです。

歳出

236億 2867万円

平成 26 年度の歳出総額は、236 億 2867 万円で、前年度に比べ 26 億 4353 万円 (+12.6%) の増加となりました。

歳出増の主な理由

防災行政無線整備事業や学校施設耐震化事業、汚泥再生処理センター建設事業の実施により「普通建設事業費」の増、また、長崎がんばらんば国体島原市実行委員会補助金など「補助費」の増、自立支援や生活保護費など「扶助費」の増によるものです。

島原市の財政状況を家計簿に置き換えると

決算状況をより分かりやすくするため、それぞれの項目を市民 1 人当たりの額に置き換え、身近な家計簿で表しました。

収入（市民 1 人当たり）		
項目	決算上の内容	金額
給料	市税・手数料など	11 万 8428 円
親からの援助	国・県からの交付金	29 万 1178 円
預金の引き出し	他会計や基金からの繰入金	2 万 207 円
借り入れ	市債	6 万 8882 円
前月からの繰り越し	前年度繰越金	6223 円
雑収入	諸収入、寄附金など	7946 円
合計		51 万 2864 円

- ・貯蓄残高（基金残高）14 万 4360 円
- ・借金残高（市債残高）41 万 8623 円
- ※人口は 4 万 6945 人（平成 27 年 3 月 31 日現在）として算出しています
- ※家計簿の各項目の額は、総務省が定めた地方財政統計上の数値を使用しているため、決算書の総額とは若干の相違があります

支出（市民 1 人当たり）		
項目	決算上の内容	金額
食費	給与、議員報酬など	6 万 6214 円
日用品や公共料金など	旅費、光熱水費、郵便料・電話料など	5 万 8030 円
家電などの修理費	維持補修費	3959 円
医療費など	児童手当、生活保護費、福祉医療費など	11 万 4087 円
家屋の増改築	普通建設事業費など	9 万 1259 円
ローンの返済	公債費	5 万 358 円
預金	積立金、貸付金など	5332 円
町内会費など	一部事務組合負担金など	6 万 8820 円
子どもへの仕送り	他会計繰出金	4 万 4576 円
合計		50 万 2635 円

島原市の財政は健全ですか？

地方公共団体の健全性に関する指標として、次の健全化判断比率を示す 4 つの判断指標と資金不足比率があります。島原市はいずれの指標も基準を下回っており、今後も健全な財政運営を行っていきます。

①「実質赤字比率」は、一般会計などの実質的な赤字額が、標準的な収入に対して、どれくらいの割合になるかを示しています。

- ・早期健全化基準（黄信号ライン）13.07%
- ・財政再生基準（赤信号ライン）20.00%

⇒赤字はありません

②「連結実質赤字比率」は、すべての会計の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示しています。

- ・早期健全化基準（黄信号ライン）18.07%
- ・財政再生基準（赤信号ライン）30.00%

⇒赤字はありません

③「実質公債費比率」は、一般会計などでの実質的な借入金返済額が、標準的な収入に対して、どれくらいの割合になるかを示しています。

- ・早期健全化基準（黄信号ライン）25.0%
- ・財政再生基準（赤信号ライン）35.0%

⇒5.4%（前年度は 6.2%）

④「将来負担比率」は、一般会計などが抱える実質的な負債残高が、標準的な収入に対して、どれくらいの割合になるかを示しています。

- ・早期健全化基準（黄信号ライン）350.0%
- ・財政再生基準（赤信号ライン）—

⇒0%以下（前年度は 0.2%）

「資金不足比率」は各公営企業の資金不足額が、事業規模に対して、どれくらいの割合になるかを示しています。⇒資金不足はありません

平成 26 年度に実施した主な事業

防災行政無線整備事業 事業費 12 億 928 万円

老朽化が進んでいた防災行政無線について、アナログ方式からデジタル方式に変更し、基地局の設置や防災ラジオの配布を実施するなど全市の整備を行いました。



防災ラジオ



立野基地局

小中学校体育館非構造部材落下防止 改修工事 事業費 6 億 1408 万円

小学校 4 校、中学校 3 校の体育館の天井などの落下防止工事を実施しました。また、平成 27 年度工事予定の小学校 5 校、中学校 2 校の実設計を行いました。



第三中学校体育館

第 69 回長崎がんばらんば国体（がんばらんば大会） 事業費 3 億 5670 万円

長崎がんばらんば国体は 4 競技、長崎がんばらんば大会は 2 競技を開催しました。また、大会のみならずリハーサルやイベント、広報活動なども実施しました。

すこやか赤ちゃん支援事業 事業費 1399 万円

子育て家庭の経済的負担を軽減するために、満 2 歳未満の子ども 489 人を対象に、赤ちゃん育児用品の購入費用の一部助成を行いました。

汚泥再生処理センター建設（H26～H28） 事業費 4 億 1553 万円

汚泥再生処理センター建設工事に伴う設計・施工管理業務委託を行い、設備の一部である脱水機や循環ポンプなどを製作しました。

鯉の泳ぐまち市有地整備事業 事業費 2 億 1619 万円

本市特産品の PR や観光情報の発信を行う観光交流拠点施設「清流亭」を鯉の泳ぐまちに整備しました。

平成 26 年度決算 目的税の使途状況

都市計画税

事業名	決算額	
街路整備事業	1 億 8335 万円	
公債費（都市計画事業債のみ）	3 億 8923 万円	
合計	5 億 7258 万円	
財源内訳	都市計画税	3 億 4449 万円
	国庫・県支出金	3701 万円
	市債	1 億 3170 万円
	繰越金	378 万円
	一般財源など	5560 万円

入湯税

事業名	決算額	
環境衛生施設整備	4 億 1528 万円	
鉱泉源の保護管理施設整備費	1400 万円	
消防施設整備費	7572 万円	
観光振興費	650 万円	
観光施設整備費	640 万円	
合計	5 億 1790 万円	
財源内訳	入湯税	1547 万円
	国庫・県支出金	3 億 8865 万円
	一般財源など	1 億 1378 万円

平成 26 年度決算 特別会計

特別会計とは特定の事業を行うための会計区分です。島原市には平成 26 年度末で 4 つの特別会計があります。（平成 26 年度から交通災害共済事業会計を廃止し、有明町簡易水道事業会計を水道事業会計に統合しています）

- ・歳入決算額 83 億 8928 万円（前年比 5.1%減）
- ・歳出決算額 82 億 6922 万円（前年比 4.9%減）

各特別会計の歳入額・歳出額は次のとおりです。

特別会計名	歳入額	歳出額
国民健康保険事業	73 億 5280 万円	72 億 5610 万円
温泉給湯事業	4 億 5326 万円	4 億 4522 万円
島原都市計画事業 安中土地区画整理 事業	487 万円	76 万円
後期高齢者医療	5 億 7835 万円	5 億 6713 万円